

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第53回システム安全専門部会議事録

1. 日 時：2020年11月4日（水）13:00～17:10

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）岡本部長，鬼沢副部長，青木，阿部，井村，大川，荻田，鎌田，北島，
工藤，後藤，杉野，中川，中村，深野，松本，三村，宮地（18名）

（代理委員）藤井 正（日立GEニュークリア・エナジー／木藤委員）（1名）

（欠席委員）鈴木，室屋（2名）

（常時参加者）成宮（1名）

（常時参加候補者）小澤 正義（原子力規制庁）（1名）

（説明者）【BWR 熱流動評価分科会】工藤主査，野崎幹事，【PLM 分科会】中川幹事，松藤
委員，伊藤常時参加者，【統合的安全性向上分科会】成宮主査，倉本幹事，【統
計的安全性評価手法標準分科会】工藤主査，尾崎委員，【長期運転体系検討タスク】
村上主査，中川委員，伊藤常時参加者（延べ12名）

（事務局）田老，牧野（2名）

4. 配付資料

STC53-00 第53回システム安全専門部会議事次第（案）

STC53-01 第52回システム安全専門部会議事録（案）

STC53-02 人事について

STC53-03-1 “BWRの核熱水力安定性評価基準：201X”標準改定原案に関する決議投票（2回目）
結果について

STC53-03-2 “BWRの核熱水力安定性評価基準：201X”標準改定原案に関する決議投票（2回目）
で受け付けた意見への対応について

STC53-03-3 “BWRの核熱水力安定性評価基準：201X”標準改定原案の誤記チェックに結果につ
いて

STC53-04-1 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X”標準改定原案に関する標準委員会
決議投票結果について

STC53-04-2 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X”標準改定原案に関する標準委員会
決議投票で受け付けた意見への対応案について

~~STC53-05~~ 欠番

STC53-06 “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針：2015”改定方針（案）

STC53-07 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定
に関する実施基準：2019”英訳版の作成について（案）

STC53-08 “統計的安全性評価の実施基準：201X”標準改定原案の標準委員会決議投票における意
見への対応について（前回コメント反映版）

STC53-09 長期運転体系検討タスクの中間報告案

STC53-10-1 ““原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針：2015”のより
良い理解のために”（技術レポート）の転載許諾対応について

STC53-10-2 ““原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針：2015”のより

良い理解のために”（技術レポート）最終案

- STC53-11-1 標準作成ガイドラインの改定提案
- STC53-11-2 標準作成ガイドラインの新旧比較について
- STC53-11-3 JIS Z 8301：2019 と標準作成ガイドラインとの比較検討
- STC53-11-4 標準作成ガイドラインの改定についての御意見への対応
- STC53-11-5 標準作成ガイドラインの見直し版
- STC53-12 IRIDM 標準講習会 議事録（速報）
- STC53-13 分科会活動状況
- STC53-14 倫理教育受講状況フォロー表
- STC53-15-1 標準策定5か年計画の公開に向けて
- STC53-15-2 標準策定5か年計画の更新ガイドライン
- STC53-15-3 標準委員会の標準策定5か年計画の更新について（依頼文書：ドラフト版）

参考資料

- STC53-参考1 システム安全専門部会委員名簿（案）
- STC53-参考2 システム安全専門部会出席実績
- STC53-参考3 標準に関する対外発表について
- STC53-参考4 IRIDM 標準の活用について
- STC53-参考5 倫理教育の御意見

講習資料

- STC53-講習資料 標準委員会における倫理について

5. 議事内容

(1) 倫理教育（STC53-講習資料，STC53-参考5）

2020年度の倫理教育は、第81回標準委員会（9月9日開催）において18名が対応し、残りの3名はその後事務局から資料を受領して対応することで全員が実施した。専門部会では、多くの委員が事前に問いかけ等に対する意見を提出した上で、倫理についての資料における問いかけを中心に議論、意見交換を実施した。主な議論、意見を総括すると次のとおりである。

- 標準の性格8項目について、重要性の面で最初の3項目と残りの5項目に分かれるのではない
- 標準委員会で議論のあった多様性は重要であるが、公正性に含まれるとも考えられる
- 説明性もステークホルダーとのインターフェイス改善の観点で重要である
- 新知見、新技術を集約するという面で迅速性は重要である
- インセンティブは安全性向上の面での意味がある、などの議論が行われた。

(2) 出席者確認

事務局から開始時、委員21名中17名が出席しており、成立に必要な定足数（14名以上）を満足している旨報告があった。開始直後2名が参加し19名の出席となった。

(3) 前回議事録（案）の確認（STC53-01）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(4) 人事（STC53-02）

事務局からSTC52-02に基づき、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、審議の結果、専門部会の委員選任等が決議され、分科会委員退任等が確認された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員再任

北島 庄一	電力中央研究所	2021. 03～2023. 02
杉野 亘	日本原子力発電	2021. 03～2023. 02

(2) 常時参加者登録承認

小澤 正義	原子力規制庁
-------	--------

2. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

小野 寛	原子力規制庁	2020. 08. 27
------	--------	--------------

【分科会】

○PLM分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

稲垣 哲彦	中部電力
-------	------

2. 確認事項

(1) 委員退任

伊藤 圭介	中部電力	2020. 08. 31
-------	------	--------------

(2) 常時参加者登録解除

野中 隆之	北海道電力	2020. 10. 23
-------	-------	--------------

(3) 常時参加者登録承認

中原 弘	九州電力
牟田 健二	九州電力
山崎 朗	北海道電力

○統合的安全性向上分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

中川 賢	日本原子力発電
山田 浩二	中部電力

2. 確認事項

(1) 委員退任

中村 太一	日本原子力発電	2020. 06. 29
伊藤 圭介	中部電力	2020. 08. 31
平川 博將	元 原子力安全推進協会	2020. 08. 31

(2) 常時参加者登録解除

河井 忠比古	原子力安全推進協会	2020. 06. 30
新田 慶	北海道電力	2020. 07. 29
松本 大朗	北海道電力	2020. 07. 29
別府 信昭	中国電力	2020. 08. 27
鈴木 直浩	中部電力	2020. 09. 30
浜谷 眞一	北陸電力	2020. 10. 06
東山 陽	北陸電力	2020. 10. 06

(3) 常時参加者登録承認

新谷 俊幸	北陸電力
-------	------

佐々木 一典 北海道電力
下岡 正和 電源開発
田渕 太郎 北海道電力
畑 康介 北海道電力
向中野 佑 北海道電力
吉岡 弘和 中国電力

(4)副主査指名

松本 昌昭 三菱総合研究所

○統計的安全評価手法標準分科会

1. 承認決議事項

(1)委員選任

小山 光 日本原子力発電

2. 確認事項

(1)幹事指名

尾崎 哲浩 テプコシステムズ

○BWR熱流動評価分科会

1. 承認決議事項

(1)委員選任

荻田 利幸 関西電力
垣内 一雄 日本原子力研究開発機構
北島 庄一 電力中央研究所
小宮山 大輔 三菱原子燃料
茶木 雅夫 エネルギー総合工学研究所

2. 確認事項

(1)常時参加者登録承認

富樫 貴紀 関西電力

○シビアアクシデントマネジメント分科会

1. 確認事項

(1)常時参加者登録解除

藤村 雅博 四国電力

2020. 08. 11

(4)【報告・審議】(STC53-03-1, STC53-03-2, STC53-03-3)

“BWR の核熱水力安定性評価基準：201X” 標準改定原案に関する標準委員会決議投票結果及び受け付けた意見への対応，並びに誤記チェック結果について

(担当：事務局，BWR 熱流動評価分科会 工藤主査，野崎幹事)

事務局から STC53-03-1 に基づき，題記標準改定原案に関する標準委員会決議投票(2 回目)の結果，可決された旨，また賛成で 2 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き BWR 熱流動評価分科会 工藤主査，野崎幹事から STC53-03-2, STC53-03-3 に基づき，頂いた意見の対応及び誤記チェックについて説明があり，審議の結果，誤記の修正は編集上の修正であるが，誤記チェック結果の記載を一部修正して，専門部会三役の確認後，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：STC53-03-3 の表 1 について，“などの”を追加するのではなく，“安全評価”に“取替炉心の安全性の確認”が含まれるとの注記を加えるとよい。また，当該箇所以外に“安全評価”との記載が独自の意味で使用されていないかを確認すること。当該の資料については，専門部会三役の確認後に標準委員会に報告すること。

C：STC53-03-3 について，“誤記チェック”は発行後の標準に対して行うものであるため，表現チェックなど別の言い方に変更するとよい。また，発行前なので安全上，活用上の影響といった仕分けは不要。標準委員会審議細則に照らして，編集上の修正かどうかという観点で分類するとよい。

(5) 【報告・審議】(STC53-04-1, STC53-04-2)

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X”標準改定原案に関する標準委員会決議投票結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，PLM分科会 中川幹事，松藤委員，伊藤常時参加者)

事務局からSTC53-04-1に基づき，題記標準改定原案に関する標準委員会決議投票の結果，可決された旨，また賛成で6名の委員から意見があったことが報告された。引き続きPLM分科会 中川幹事，伊藤常時参加者からSTC53-04-2に基づき，頂いた意見の対応について説明があり，審議の結果，意見対応案がわかりにくいところがあるのと，解説の修正案が利用者の判断に影響する可能性があり，編集上の修正を逸脱しているため，分科会で対応案の記載を再度検討の上，それをもって15日間の書面投票を行い，結果を三役判断で次回標準委員会に諮ることが決議された。

(6) 【報告・審議】(STC53-06)

“原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針：2015”の改定について
(担当：統合的安全性向上分科会 成宮主査，倉本幹事)

統合的安全性向上分科会 成宮主査，倉本幹事からSTC53-06に基づき，題記改定についての説明があり，審議の結果，提案とおりの改定を進めることが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：改定の検討工程は，5か年計画から後ろ倒しになっているということか。

A：技術レポートの検討，発行が遅れたことにより，改定検討の着手も遅れ，検討工程が全体的に後ろ倒しになっている。2021年度の5か年計画は，この工程での検討を提案させていただく。

C：現状挙げている文献に加えて，IRRSでの指摘事項，IAEAの各国PSR調査結果等の情報もある。それらの情報もサーベイして，改定に必要な情報があれば取り入れることを行う。

C：PLM分科会で検討中のタスク議論のアウトプットも参考にしていくように。

A：拝承。本分科会でもタスクに参画しており，参考として検討を行う。

(7) 【報告・審議】(STC53-07)

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019”の英訳版作成について

(担当：統合的安全性向上分科会 成宮主査，倉本幹事)

統合的安全性向上分科会 成宮主査，倉本幹事からSTC53-07に基づき，題記についての説明があり，審議の結果，提案とおりの改定を進めること及び次回標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：PLM標準等の他の標準も，このような検討工程であったか？英訳版標準で，講習審査迄要るのか？公衆審査まで行くと，期間もかなりかかってしまう。

A：標準として発行するので，公衆審査も必要だと考えて，この工程としている。

C：公衆審査まで行くと期間もかなりかかり，迅速性がなくなることが気になる。そのスキームで実施するのかどうかは，よく確認して進めてほしい。

(8) 【報告・審議】(STC53-08)

“統計的安全評価の実施基準：201X”標準改定原案の標準委員会決議投票における意見への対応について(前回コメント反映版)

(担当：統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査，尾崎委員)

統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査, 尾崎委員から STC53-08 に基づき, 題記標準改定原案に関する標準委員会決議投票で頂いた意見の対応について, 第 51 回システム安全専門部会のコメントを反映して変更した内容の説明があり, 審議の結果, 当該の対応について次回標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑, コメント等は以下のとおり。

Q: 標準委員会で出された保留意見について, 保留意見者が既に退任した状況であり, 当該の対応案で保留意見の解消の是非を標準委員会に問い, 解消されていないと見なされれば再投票となるということか。

A: そのとおりである。

Q: 標準委員会で出された賛成意見に対する対応について, 附属書 A の新知見の対応に関わる記述を要求レベルに相当する文章に変えているが 附属書 A は参考なのか。

A: 規定である。新知見に対応することが重要で, その重要事項に対して推奨というのは適さないのではと第 51 回システム安全専門部会でコメントがついている。

C: そういうことであれば, “望ましい” とするのは適当ではなく, 要求レベルが相応しい。

C: 標準委員会に向けた対応として, これまでの審議経緯をまとめた資料を準備すること。また, コメント回答表については, non-editorial な修正を含む保留意見対応及び賛成コメントに対する対応とその他 editorial なもので分けて報告すること。

(9) 【報告・審議】 (STC53-09)

長期運転体系検討タスクの活動報告

(担当: 検討タスク 村上主査, 中川委員, 伊藤常時参加者, 倉本常時参加者)

検討タスク 村上主査, 中川委員から STC53-09 に基づき, 題記活動についての説明があり, 審議の結果, 次回標準委員会に報告することが決議された。

(10) 【報告】

“加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針” の転載許諾対応について

(担当: 事務局)

事務局から, 題記転載許諾対応について説明があり, 前回 9 月 9 日の標準委員会で報告し, 標準を発行することが承認され, 11 月 10 日に発行予定であることが報告された。

(11) 【報告・審議】 (STC53-10-1, 10-2)

“原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針: 2015” のより良い理解のために” (技術レポート) の転載許諾対応について

(担当: 統合的安全性向上分科会 成宮主査, 倉本幹事)

統合的安全性向上分科会 成宮主査, 倉本幹事から STC53-10 に基づき, 題記転載許諾対応について説明があり, 審議の結果, 次回標準委員会に報告することが決議された。

(12) 【報告】 (STC53-11)

標準作成ガイドラインの見直しについて

(担当 事務局)

事務局から STC53-11 に基づき, 題記について, 標準委員会での意見募集の結果, 意見が無かったことが報告された。また, 各専門部会からの意見に対する対応及び, 次回標準委員会で審議予定である旨の説明があった。

(13) 【報告】 (STC53-12)

講習会「IRIDM 標準 (原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準: 2019)」の結果速報について

(担当 統合的安全性向上分科会 成宮主査)

統合的安全性向上分科会 成宮主査から STC53-12 に基づき, 題記講習会の結果速報

について説明があった。

(14) 【報告】(STC53-13)

システム安全専門部会 分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から STC53-13 に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

(15) 【報告】(STC53-15-1, STC53-15-2, STC53-15-3)

標準策定 5 か年計画の公開に向けて

(担当：事務局)

事務局から STC53-15-1, STC53-15-2, STC53-15-3 に基づき、題記標準策定 5 か年計画の公開について及び、次回標準策定基本戦略タスクで審議後、標準策定 5 か年計画の変更について依頼する旨の説明があった。

6. その他

- ・今後の予定：次回は 2021 年 2 月 4 日（水）13 時から
- ・次回もおそらく Web 会議。

以 上